わかりやすい
地震と原発の話

小川 仙月さん学習会

2024年正月に発生した能登半島地震は現地の生活を一変させるほどの衝撃でした。

もし茨城でおきたら…

13年前の東日本大震災を振り返り「地震×原発」のリスクと備えを科学的に考えます。

4月13日（土）松代交流センター
（つくば市松代4-16-3　定員60名）

4月20日（土）並木交流センター
（つくば市並木4-2-1　定員45名）

各日13:00～15:30（開場30分前）

参加費無料

おがわ　せんげつ
小川　仙月
プロフィール
1964年生まれ。筑波大学卒業。普段は高齢者や障害者のためのバリアフリー設計の仕事をしています。原発問題は1980年代から市民の立場で研究しています。高校生以上の方なら読み解ける話です。若い皆様もぜひ聞いてください。

主催：脱原発ネットワーク茨城

協賛：つくば・市民ネットワーク

当日参加できます。会場定員をこえた場合は、予約者が優先になります。

ホームページから予約できます
（前日まで）

https://nonukes-ibaraki.jimdo.com
これまでの企画の動画も公開中です。

活動への寄付を受付しております。
郵便振替　口座　00100－2－466803
加入者名　脱原発ネットワーク茨城

電話での予約・問合せ

TEL 090-9299-3783（江口）
TEL 090-5548-3078（小川）
TEL 070-5079-6308（永井）

メール（前日まで）
nonukes.ibaraki@gmail.com

ごあいさつ

2024年1月1日16時10分に能登半島で大地震が発生しました。地震の規模は、M(マグニチュード)7.6、石川県羽咋郡志賀町と輪島市で最大震度7、そして能登地方の広範囲で震度6弱以上のゆれが観測され、大きな被害をもたらしています。今回の地震は活断層で発生した直下型地震でしたが、能登半島の北部で90kmにわたる「隆起」が観測されました。最大4mの隆起が確認された輪島市の鹿磯(かいそ)地区から35kmほど南の海岸線に北陸電力の志賀原子力発電所があります。

志賀原子力発電所は2011年から停止したままであり、今回は重大な事故には至りませんでしたが、なぜこのような場所に原子力発電所があるのでしょうか。今回、甚大な被害が発生した珠洲市には、1980年代から原子力発電所の建設が計画されたものの、地元市民の反対により2003年に凍結された経緯があります。

日本地図を開き、現在稼働中・審査中の原子力発電所の位置を見てみると、大部分の原発は“海に突き出た半島”に位置しています。一方で、東海第二発電所や柏崎刈羽発電所などの一部の原発は“広い平野”に位置しています。この両グループは地質が大きく異なる土地に建っています。地震の切り口で見た時に、それぞれどのようなリスクがあるのか？私たちは正しく知っているでしょうか。

今回の学習会では、地震×原発のリスクを知り、私たちはどのような備えをしなければならないのか、どのような社会を目指すべきか、一緒に考えたいと思います。

小川　仙月

会 場 案 内

4/13(土) 松代交流センター
13:00～　(つくば市松代4-16-3)

4/20(土) 並木交流センター
13:00～　(つくば市並木4-2-1)

交流センター併設の駐車場は台数に限りがあります。公共交通機関や周辺の駐車場などご利用ください。